

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年12月12日(2022.12.12)

【公開番号】特開2022-46811(P2022-46811A)

【公開日】令和4年3月23日(2022.3.23)

【年通号数】公開公報(特許)2022-051

【出願番号】特願2022-6917(P2022-6917)

【国際特許分類】

A 61 K 38/07 (2006.01)

10

A 61 P 9/04 (2006.01)

【F I】

A 61 K 38/07

A 61 P 9/04

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月2日(2022.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物被検体の心不全又は高血圧性心筋症を処置するための医薬の調製のためのペプチドの使用であって、該ペプチドがD-A r g - 2', 6' - D m t - L y s - P h e - N H₂である、使用。

【請求項2】

前記被検体が心不全に罹患している、請求項1記載の使用。

30

【請求項3】

前記心不全が、高血圧；虚血性心疾患；心臓毒性化合物への暴露；心筋炎；甲状腺疾患；ウイルス感染症；歯肉炎；薬物乱用；アルコール乱用；心膜炎；アテローム性動脈硬化症；血管疾患；肥大型心筋症；急性心筋梗塞；左室機能障害；冠動脈バイパス手術；飢餓；摂食障害；又は遺伝子異常にによって生じている、請求項2記載の使用。

【請求項4】

前記被検体が高血圧性心筋症に罹患している、請求項1記載の使用。

【請求項5】

前記医薬が前記ペプチドを投与された被検体の心筋収縮機能及び心拍出量を増加させる、請求項1記載の使用。

40

【請求項6】

前記医薬が前記被検体の心筋収縮機能及び心拍出量を少なくとも10%増加させる、請求項5記載の使用。

【請求項7】

前記被検体がヒトである、請求項1記載の使用。

【請求項8】

前記医薬が、経口投与、局所投与、全身投与、静脈内投与、皮下投与、腹腔内投与又は筋肉内投与されるために製剤化される、請求項1記載の使用。

【請求項9】

さらに、前記医薬が心血管作動薬を含む、請求項1記載の使用。

【請求項10】

50

前記心血管作動薬が、抗不整脈薬、血管拡張薬、抗狭心症薬、コルチコステロイド、心臓グリコシド、利尿薬、鎮静剤、アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬、アンジオテンシンⅠ拮抗薬、血栓溶解剤、カルシウムチャネル遮断薬、トロンボキサン受容体拮抗剤、遊離基捕捉剤、抗血小板薬、-アドレナリン受容体遮断薬、-受容体遮断薬、交感神経抑制薬、ジギタリス製剤、変力物質、及び抗高脂血症薬からなる群から選択される、請求項9記載の使用。

【請求項11】

心不全又は高血圧性心筋症に罹患している被検体の心筋収縮及び心拍出量を増加させるための医薬の調製のためのペプチドの使用であって、該ペプチドがD-Arg-2', 6'-Dmt-Lys-Phe-NH₂である、使用。

10

20

30

40

50